

軌道にのせよう “生活改善”

部落座談会、今月にも各地区で

総務員会議で決まる

八月十六日、町中央公民館で、区(部落)生活改善推進委員会の設立についての総務員会議が開かれました。

これは、昨年十月町内全世帯を対象に行った生活改善アンケート調査の結果(広報よこしば第一六

四号参照)をもとに、冠婚葬祭諸行事の簡素化をどのように進めていったらよいかを、部落の中心となる総務員の方々に協力していただき、委員会を設立して推進していこうという目的で行われたものです。

会議は、各地区の総務員三十名余りが出席して開かれ、生活改善運動推進の経



▲ 推進委員会設立について、熱心に討議する総務員会議

生活改善で 部落にまとまりが……



小堀四郎上町第四区長の話

私たち上町第四地区一三〇世帯は、葬儀に関して十五年前からお返しはタオル一本と決めています。施主側の金銭的負担を少しでも軽減し、見栄や体裁をなくそうと始めたのがきっかけでした。もち

過報告の後、区(部落)内における推進委員会の設立、および委員の選任等について活発に意見交換がなされました。この結果、設立および委員の選任については大筋で承認されましたが、その他細かい内容については各地区、部落で慣習が若干異なるので、町で一本化して推進していくよりも部落内の実情に添った方向で検討、推進していくほうがよいということになりました。

習等を是正し、改善していくことは大変なことだと思います。しかし、アンケート調査の結果から、多くの町民の方が改善を望んでいることも事実です。今月から来月にかけて、各地区(部落)内において、総務員さんがこの問題について座談会を開くと思われるので、「いかに合理化ができるか」共に考え、反省し、より良い日常生活ができるようご協力をお願いいたします。



ろん、申し合わせた事項については今でもきちんと守られています。それどころか、この取決めが定着してからは部落のまとまりも更に密になり、みんなの盛り上がりによって病気見舞の金額やお返し等についても改善されました。

今年、去る二月十五日に座談会で決定したその他の改善運動を是非とも実践して、一層住みよい部落をつくっていきたいと思います。